

平成30年9月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

（開港以来輸出額は最高額、輸入額は3番目）

平成30年9月分について、輸出は「通信機」、「重電機器」などが減少したもの、「半導体等電子部品」、「電気回路等の機器」、「科学光学機器」などが増加したことから対前年同月比36.2%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」「記録媒体（含記録済）」などが減少したものの、「通信機」、「原動機」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同51.3%の増加となった。

その結果、差引額は46億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,193億円	+36.2%	1,147億円	+51.3%	46億円	▲61.1%
17カ月連続の増加		2カ月ぶりの増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)半導体等電子部品	109億円	+66.1%	輸入	増加品目	(1)通信機	97億円	+626.8%
		(2)電気回路等の機器	101億円	+65.3%			(2)原動機	122億円	+125.3%
		(3)科学光学機器	74億円	+80.3%			(3)半導体等電子部品	149億円	+52.1%
	減少品目	(1)通信機	32億円	▲12.4%		減少品目	(1)有機化合物	38億円	▲47.4%
		(2)重電機器	19億円	▲10.9%			(2)記録媒体（含記録済）	5億円	▲56.8%
		(3)荷役機械	6億円	▲3.7%			(3)二輪自動車類	1億円	▲26.3%
	主要地域 増 減		アジア、EU、アメリカが増加			アジア、アメリカ、EUが増加			

（参考）ドルレートは、111.13円（前年 109.48円）1.5%の円安ドル高であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。